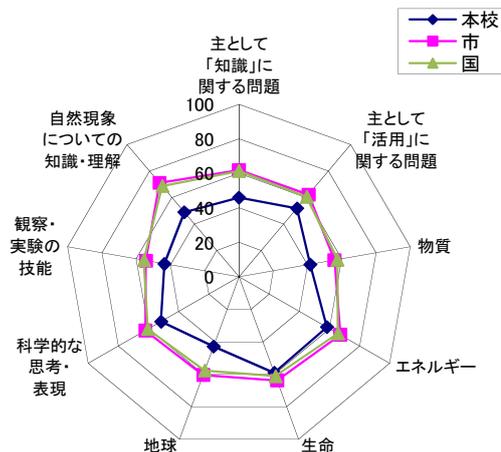


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
枠組み	主として「知識」に関する問題	46.0	61.9	61.3
	主として「活用」に関する問題	51.8	62.2	60.5
区分等	物質	41.6	55.7	57.4
	エネルギー	58.3	67.2	65.6
	生命	59.1	63.8	61.2
	地球	42.9	60.5	57.8
観点	自然現象への関心・意欲・態度			
	科学的な思考・表現	51.8	62.2	60.5
	観察・実験の技能	43.6	54.4	55.5
	自然現象についての知識・理解	48.9	71.1	68.6



★理科に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 理科に関する質問において、ほとんどの回答について、肯定的な回答の割合は全国平均を上回っている。
- 「理科の勉強は大切」「理科の授業の内容はよく分かる」の肯定的な回答は100%である。
- 「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。」の設問の回答率は、全国平均よりは高いが、他の設問より比較的低くなっている。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質	領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。 ○ 振り子時計の軸に用いる適切な金属を選びその理由を書く設問の平均正答率が全国平均を上回った。 ● メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ設問の正答率が全国平均を下回り、メスシリンダーの扱い方の理解に課題が見られる。	・一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けさせるために、スポイトで水の量を微調整できることの確認、実際に水をはかり取る活動を十分に確保するよう努める。
エネルギー	領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。 ○ 電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ設問で平均正答率が全国平均を上回った。 ● 振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ設問の平均正答率が全国平均を下回った。	・グラフを基に考察して分析した内容を記述することができるようにするために、観察・実験の結果を基に、自分の考察を記述させた後、グループや学級全体で結果や考察についての話し合い活動をより充実させていく。
生命	領域の平均正答率は、全国平均をやや下回っている。 ○ メダカをめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ設問の平均正答率が95.5%で全国平均を大きく上回った。 ● 顕微鏡の名称を書く設問の平均正答率が全国平均を下回った。	・顕微鏡などの器具の名称を正しく理解させるために、実物や拡大した掲示物などを示しながら、器具の名称とともに操作手順、操作の意味をとらえることができるようにさせる。
地球	領域の平均正答率は、全国平均を下回っている。 ● 夕方に見られる月の形と場所を選ぶ設問の正答率が全国平均を下回り、月の一日における形と位置の理解に課題が見られる。	・月は一日によって形は変わらないが位置が変わることをとらえる能力を高めるために、複数の観察の機会をもてるよう工夫改善をし、月の動きと時間の経過とを関係付けて考えられるようにする。